

## 神奈川県立藤沢支援学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	第2回神奈川県立藤沢支援学校 学校運営協議会		
開催日時	令和5年10月17日（火曜日） 午前9時30分～午前11時30分		
開催場所	神奈川県立藤沢支援学校 第二被服室		
出席者	運営協議会委員7名（本校校長を含む） 事務局教職員11名		
次回開催予定日	令和5年12月12日（火）		
問合せ先	所属名 藤沢支援学校 副校長 電話番号 0466-82-9413 ファックス番号 0466-83-3520		
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由	/
会議経過	<p>1 開会 (1)校長あいさつ (2)委員長あいさつ</p> <p>2 令和5年度学校評価（中間評価）【学校評価部会】 前期の取り組み状況、成果と課題を総括教諭から報告</p> <p>3 地域と協働した取り組みの報告【切れ目ない支援部会】 小学校の避難所体験の視察 六会公民館との協働事業</p> <p>4 授業視察 小学部・中学部の取り組み 高等部の取り組み</p> <p>5 協議 学校評価(中間評価) 前期の取り組み状況について 4年間のまとめと、次の4年間に向けて</p>		
意見聴取	<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">意見・質問等</span></p> <p>○ 前期の取り組み状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童生徒の内発的な育ちを支援する視点が大切である。</li> <li>・ 卒業後の生活には、規律を守ることや集団行動ができること、状況に合わせて判断することの両方が必要である。そのために、両方に共通する「発信する力」を育てる方針に賛同する。</li> <li>・ 様々な場面で、選択し決定する力を育てることや、そのための支援をすることは、関わる人が違っても同じであり、大切な視点である。</li> <li>・ 児童生徒を「〇〇さん」と呼ぶことが実践されている。学校経営方針の中にある、児童生徒一人ひとりを大切にすること、不祥事防止につながるのではないかと。</li> <li>・ 公民館との協働事業で、地域の高齢者や子供たちが対象であった</li> </ul>		

	<p>が、児童生徒も一緒に活動できるとよい。⇒とりかかりとして、本校の施設を開くことから始めた。教員がスタッフとして関わることで、指導力の向上にもつながった。今後は、本校の児童生徒も一緒に参加できるイベントを考えていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地域のニーズ把握」はとても重要である。把握の方法をよく考える必要がある。⇒学校関係者だけではない「地域」のニーズの掘り起こしのアイデアをいただきたい。</li> </ul> <p>○4年間のまとめ、これからの4年間に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 過去3年間の取り組みを通してみると、ステップアップが難しかった面がある。コロナ禍という状況の中で、時々にはできることを模索した結果である。本日いただいた意見を踏まえながら、後半の半年でまとめて行く。</li> <li>・ 次の4年間のミッションが通知された。今後の取り組みの方向性について、多くの方の思いをこめたグランドデザインを作っていく。</li> <li>・ これから社会、地域、学校がどう変わっていくのかを、加味する必要がある。学校としての地域はどこかを明確にすることも必要ではないか。</li> <li>・ 学校の取り組みを知ってもらうことで、地域のニーズが見えてくる。発信の仕方、範囲を考えるとよい。</li> <li>・ 共生社会を考えると、互いに知ることが必要である。やがて一緒に生きていくことに繋がる良いキーポイントとなる。</li> <li>・ 児童生徒一人ひとりが、選択する力を大切にしたい。</li> <li>・ 障害のある方に無関心な人が多くいるが、障害のある方も担い手の一人である。共生社会の実現に向けては、受け身になることなく、学校から積極的に発信していくことが大切である。</li> <li>・ 地域の専門的な技術や技能がある方の活用について、この先どうしていくのか。地域の中にも、専門的な力のある方がたくさんいる。活用するとよい。</li> <li>・ 地域の関係者会議の中でも、人材の掘り起こしができるのではないか。</li> <li>・ より良い学校づくりに向けて、協力していきたい。</li> </ul> <p>6 閉会  (1)校長あいさつ  前半の取り組みが概ね順調に進んでいると報告させていただいた。本会でいただいた意見を少しずつ具現化することができており、学校運営にご協力をいただいていることを改めて感じた。  次の4年間に向けて様々なキーワードをいただいた。今後に生かしたい。</p>
<p>会 議 資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 神奈川県立藤沢支援学校 学校運営協議会運営要綱</li> <li>・ 令和5年度 神奈川県立藤沢支援学校 学校運営協議会委員名簿</li> <li>・ 令和5年度 神奈川県立藤沢支援学校 学校運営協議会運営計画</li> <li>・ グランドデザイン</li> <li>・ 学校教育計画（令和2年度～令和5年度）</li> <li>・ 学校評価 4年間の経過</li> <li>・ 令和5年度学校評価報告書（中間報告）</li> </ul>